

## サッポログループで 業務工数削減を目的とした生成 AI の試験導入を開始 現場ニーズに応える独自プロンプトを作成し 約 10,000 時間の削減を目指す



サッポロホールディングス（株）は2月1日より（株）Exa Enterprise AI（以下、Exa EAI 社）が提供する「exaBase 生成 AI」(注1)を、サッポログループ各社の企画・管理系部門を中心とした約700名を対象に試験導入します。

「exaBase 生成 AI」はMicrosoft 社が提供する GPT モデルを利用する SaaS 形式のサービスであり、今回の試験導入では、インプットデータが学習に利用されないこと、入力ログなどが確認できる管理ダッシュボードを持つことを踏まえ、同サービスを採用しました。

本試験導入では、日常的に多くの工数がかかっている業務の品質と生産性の向上を目指しており、利用者へのプロンプト集の提供、および活用スキルを身に付けた推進人材の育成により「exaBase 生成 AI」の活用定着を図ります。プロンプト集はサッポログループのシステムや業務に合わせ、Exa EAI 社と共同で開発した当社独自のものであり、例えば稟議文書の作成や校正など現場のニーズに応えることで年間約 10,000 時間の工数削減効果を見込んでいます。

また、試験導入の結果を検証し、対象部門・対象業務の拡大を行うことで、業務プロセス自体の改善や創造性の向上などのさらなる効果創出も目指します。

サッポログループでは「中期経営計画（2023～26）」において、事業戦略・財務戦略・サステナビリティを支える経営基盤として「DX」を重点活動の1つに位置付けています。あらゆるステークホルダーとともに成長し続け、お客様と企業の価値最大化を目指し、デジタル技術の活用による業務変革への取り組みを引き続き推進していきます。

(注1)（株）エクサウィザーズの100%子会社である（株）Exa Enterprise AI が提供する法人向けの ChatGPT サービス。

以上